

[\[リストへもどる\]](#)

一括表示

- [Linton手術を！ - にし@沖縄](#) 09/04/28-21:25 No.6
 - [Re: Linton手術を！ - にし@沖縄](#) 09/04/28-21:26 No.7
 - [Re: Linton手術を！ - カネコ@北海道](#) 09/04/29-06:30 No.9
 - [Re: Linton手術を！ - カネコ@北海道](#) 09/04/29-07:28 No.12
 - [Re^2: Linton手術を！ - にし@沖縄](#) 09/04/29-09:24 No.13
 - [Re^3: Linton手術を！ - カネコ@北海道](#) 09/04/30-08:29 No.16
 - [Re^4: Linton手術を！ - カネコ@北海道](#) 09/04/30-10:29 No.17

タイトル：**Linton手術を！**

記事No：6

投稿日：2009/04/28(Tue) 21:25

投稿者：にし@沖縄

症例写真、拝見いたしました。
静脈うっ帯性潰瘍だと考えます。

このような潰瘍をきたす病変は、不全穿通枝が原因であることが圧倒的に多いと私の経験から考えております。大伏在静脈・小伏在静脈の逆流で静脈うっ帯性潰瘍は、非常にまれです。

私でしたら、まず血管エコーを行います。下腿の筋膜を貫く拡張した不全穿通枝を同定し、下腿のミルキングにより逆流の有無をパルスドップラーにて確認します。

確認できた不全穿通枝は局麻下に結紮切離します。Linton手術といわれる方法です。

不全穿通枝が無ければ、リンパうっ帯性潰瘍の診断となります。リンパ肝静脈吻合など行う施設もあるようです。リンパ浮腫の治療としては、フェルディ式複合的理学療法があります。リンパうっ帯性潰瘍は治療に難渋することが多いです。

御参考になれば幸いです。

[返信する](#)タイトル：**Re: Linton手術を！**

記事No：7

投稿日：2009/04/28(Tue) 21:26

投稿者：にし@沖縄

リンパ肝静脈吻合
↓
リンパ管静脈吻合

誤字訂正いたします。

[返信する](#)タイトル：**Re: Linton手術を！**

記事No：9

投稿日：2009/04/29(Wed) 06:30

投稿者：カネコ@北海道

>にし先生

ご指摘の通り、私も不全交通枝による潰瘍の可能性が最も高いと思います。大伏在静脈・小伏在静脈の逆流のみでも潰瘍を生じたケースは経験していますが、今回呈示された症例のような皮下に

達する深い潰瘍を生じることは滅多にないと思います。

血管エコーを勧めなかったのは慣れていない先生では診断が難しいと考えたからです。静脈造影の方が侵襲の高い検査ですが、これだけの潰瘍を生じる不全交通枝であればほぼ一発で診断が付きます。

治療法についても同意で、局麻下での不全交通枝結紮でよいと思います。透視中にマーキングすれば問題なく手術できると思います。

返信する

タイトル: **Re: Linton手術を!**

記事No: 12

投稿日: 2009/04/29(Wed) 07:28

投稿者: カネコ@北海道

で、実を言えばもう一つ気になっているのは深部静脈閉塞症の症例にストリッピングをしちゃったのでは?ということです。これだとストリッピング術後にうっ滞性潰瘍を生じたという、一般的にはあまりみられない状態に説明が付くので...

返信する

タイトル: **Re^2: Linton手術を!**

記事No: 13

投稿日: 2009/04/29(Wed) 09:24

投稿者: にし@沖縄

カネコ先生の御指摘のとおり、深部静脈閉塞・逆流症にStrippingは禁忌とされています。ただこの場合、潰瘍が生じる前に、下肢周囲径に左右差が出ると思うのですが、いかがでしょう。本症例では、左右差(患側が太い)があるのでしょうか?

返信する

タイトル: **Re^3: Linton手術を!**

記事No: 16

投稿日: 2009/04/30(Thu) 08:29

投稿者: カネコ@北海道

>にし先生

自験例で外観からはあまり分からない程度の周径差の慢性深部静脈閉塞症というケースがあります(計測してみたら患肢が2~3cmぐらい太い程度)。

返信する

タイトル: **Re^4: Linton手術を!**

記事No: 17

投稿日: 2009/04/30(Thu) 10:29

投稿者: カネコ@北海道

失礼しました。
慢性深部静脈血栓症にストリッピングをした「あと」下肢周径差が生じると言うことですね。これは

おっしゃるとおりだと思います。

返信する